



令和6年度の「進化」の象徴 第3回卒業証書授与式が挙行されました

3月14日(金)、春めいてきた温かな陽気の中、中学校における最大の行事の一つである卒業証書授与式を無事挙行することができました。お陰様で、多数のご来賓、保護者の方々のご列席のもと、盛大に卒業生を送り出すことができました。綾川中学校第3回目となる卒業式でしたが、凛とした緊迫感の中、随所に感動的な場面が見られる約1時間半余りの式典となりました。



【吹奏楽部による生演奏】

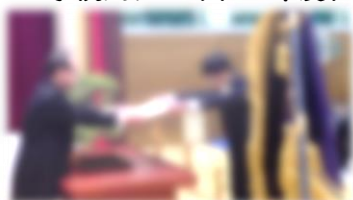
また、綾川中学校統合後の初の試みとして、今年度は吹奏楽部の生演奏による「卒業生入場」「国歌斉唱」「校歌斉唱」「卒業生退場」を行いました。夏の吹奏楽コンクール金賞、冬のアンサンブルコンテスト上位入賞の実力そのままに、卒業式を見事に演出してくれました(右上写真)。

さて、卒業生を核として、この3年間綾川中学校はその文化と伝統を築き上げてきたところですが、これに満足せず、今後更にその文化・伝統を進化・発展させることが大切と考えます。こうした意味において、今回の卒業式では令和7年度の、そして未来の綾川中学校につながる子どもたちの姿が随所に見られたので以下に紹介します。

- 3年生が学級担任の小気味よい呼名に対して、はつらつと元気に返事をする姿から、中学校生活の充実ぶりと3年間の成長が感じられたこと(3年生)。
- ご来賓等の祝辞の中の3年生に対するお祝いの言葉「卒業おめでとう」や、「一同礼」の号令に対して深々とお辞儀をするなど、礼を尽くす気持ちを態度に表出させたこと(全校生)。
- 式典中の国歌斉唱、校歌斉唱、式典後の卒業生合唱と、校内音楽祭で培ったすばらしい歌声そのままに歌唱できたこと。国歌斉唱からしっかりと声を出し、校歌からは綾川中学校への誇りが感じられたこと。また、最後の卒業生合唱は、思わず涙がこぼれそうになるほど感動的な歌声だったこと(全校生・3年生)。
- 卒業式の会場設営及び片付けで、自分の役割を理解し、てきぱきと行動できたこと(2年生)。また、椅子の縦横の整頓、絨毯のゆがみの修正、ほこり取り等、細かなところまで徹底的にこだわり、美しい会場設営を目指して懸命に作業を行っていたこと(2年生)。
- 式場周辺的环境整備で、普段の清掃が行き届いていない所にまで隅々まできれいにしようと懸命に清掃を頑張っていたこと(1年生)。
- 微動だにしない話の聞き方は、日頃からの授業で培われた集中力の賜物であること。また、ここぞというときに、緊張感のある所作が身に付いており、「時を守り、場を整え、礼を正す」という普段から大切にしている行動様式が改めて大切だと思ったこと(全校生)。
- 見送りでは、整然と隊列をつくり、吹奏楽部の生演奏の中、温かな拍手を惜しみなく送り続けられたこと(1・2年生)。
- 挨拶運動や感謝のメッセージづくり等、全校生で卒業をお祝いしようとする心温まる取組ができたこと(1・2年生、生徒会、専門委員会)。

上記のことは、一朝一夕にできるものではありません。これまでの学校生活での教育活動それぞれに真摯に取り組み、失敗や成功の体験を重ねながら人間的な成長を遂げ、卒業生は自信と誇り、1・2年生は3年生への畏敬の念を高めているからこそ、上記の姿につながったと考えます。「人は人に憧れて育つ 人は人に憧れられて育つ」、まさにこの言葉がぴったりと当てはまる上級生と下級生の関係が構築されていると感じます。

3年生を送る会の生徒会テーマは「bloom# 紡ぐ」でした。綾川中学校開校以来3年間で築いた学校文化を令和7年度、そして綾川中学校の未来へと「紡」いでほしいと願っています。



【卒業証書授与】



【フィナーレ 卒業生退場】



【1・2年生・保護者・来賓による見送り】